

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

「新版 荻窪の記憶」発刊のご案内

新版 荻窪の記憶



荻窪地域区民センター協議会

発刊予定日：令和3年2月23日(火)
発行：荻窪地域区民センター協議会
仕様：A5判、112ページ、非売品

◆第1章 大田黒公園周辺100年の歴史

荻窪駅の南東に位置する閑静な住宅街。国指定史跡の荻外荘(てきがいそう)の他、4つの国登録有形文化財が至近距離に集まる都内でも稀なエリアです。

◆第2章 天沼100年の歴史

荻窪駅の北から北東に広がる住宅が密集する地域。井伏鱒二、太宰治などの文豪、棟方志功、石山太柏などの画家をはじめ多くの文化人や著名人達が暮らしました。

◆第3章 南荻窪・宮前100年の歴史

井荻村の土地区画整理事業により誕生した歴史と風格を感じさせる南荻窪の住宅街。一方、武蔵野の新田開発を由来とする宮前には都内では貴重な生産緑地が残ります。

◆第4章 町名の由来と今

荻窪／天沼／今川／清水／桃井／宮前／高井戸／成田西・成田東／川南・西田端・西田

本書は平成31年発行の「荻窪の記憶」に、第3章「南荻窪・宮前100年の歴史」を加えたリニューアル版です。

※部数に限りがあります。入手希望の方は、荻窪地域区民センター協議会事務局まで、お問い合わせください。TEL:3398-9127

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的です。変更する場合はホームページなどでお知らせします。

これからのスケジュール

2月

- 2月9日・16日・23日◎
「リズム&ストレッチ教室」
講師・後藤鈴香(健康運動指導士)
- 21日◎「続・はやぶさ2の挑戦
〜リュウグウからの玉手箱〜」
講師・澤岡昭
- 23日◎「新版 荻窪の記憶」発刊
(JAXA研究総括 大同大学名誉学長)

3月

- 16日◎ 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.350 4月・5月号発行
- 23日◎ 「荻窪地域区民センター協議会
活動報告20号(令和元年度・二年度)」発行

4月以降

- 4月17日・24日◎・5月1日・8日◎
「初心者のための俳句教室」
講師・野崎海宇
(俳人協会会員、澤俳句会同人)
- 4月21日◎「定期総会」
- 5月14日・21日◎
正しく学ぼう！ラジオ体操
講師・銚立和子
(全国ラジオ体操連盟公認一級指導士)
- 5月25日◎ 広報紙「わたしのおぎくぼ」
No.351 6月・7月号発行
- 6月20日◎ 「本天沼集会所まつり」

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は
荻窪地域区民センターです。

※問い合わせ先 ●事業企画部 ●地域交流部

●広報部 ●総務部



集う全てのひとに学びのある学校を目指す 杉並区立松溪中学校



このシリーズの第5回は、松溪中学校の辻成一郎校長先生からお話を伺いました。

★概要

松溪中学校（以下「松溪中」）は、1948年（昭和23年）の創立、今年が開校して74年目を迎えます。この間、2000年に今の新しい校舎に替わりました。広々とした校庭にエコロジーに配慮した校舎が立っています。在籍する児童数は304名（2020年12月1日現在）、10学級からなっています。南隣りには西田小学校があり、学園地区をなしています。学区の保護者は教育にたいへん熱心な方が多く、学校教育に対して協力的で、町内会、自治会などもしっかりと組織されており、学校への協力も積極的とのこと。今年度、新型コロナウイルス感染症拡大によって学校運営でご苦労をなさっている最中、快く取材を受けてくださいました。

★学校の特徴

松溪中は、机上の学業面のみならずスポーツや芸術面でも優れた成果を上げているといわれています。長く吹奏楽部は有名ですし、スポーツでは、今年度秋の新人戦で優勝しました。学校の教育目標として、「自学・自立」、「鍛錬」、「思いやり・感謝」を上げていますが、学校の位置づけをユニークにしているのは、目指す学校像として「集う全てのひとに学びのある学校」であろうとしていることです。学ぶのは生徒だけではありません、教職員も教育をする立場で「学び」続けることを求められています。保護者、卒業生も同様に学校を理解し、学校を支えようとする体制ができています。保護者に加え地域も加わった学校支援本部の活動が行われてきましたが、その延長線上に、昨年度から学校運営協議会が立ち上がり、コミュニティスクールとしての松溪中を支えています。



「メルクマールを残そう」の例
(修学旅行の経験から制作)



文化部部活風景

★具体的な教育活動

- ①「メルクマールを残そう」：自分で課題を見つけ、将来、社会に出ていく生徒が、興味をもっていること、今できることや未来に向けてすべきことは何かを考え発信していく「言語表現活動」として松溪中の総合的な学習の柱となっています。
- ②読書活動：年間を通して朝読書を実施、読書活動の充実を図られています。毎月発行の「図書館だより」が豊富な情報を提供しています。(平成20年度文部科学大臣表彰対象)
- ③外部人材の有効利用：学校支援本部との連携のもと、卒業生と語る会、道徳授業地区公開講座、いのちの教育など、ゲストを招き多様な学習の機会を設定しています。
- ④いのちの教育：生きることに感謝し、生徒同士が互いを思いやる気持ちをもつことを目標とし、自他の命を大切にすることを育むことを志向しています。



運動部部活風景

★辻校長の思い

辻先生は昨年9月に着任されましたが、まず最初に、「穏やかで温かく信頼できる生徒」たちであることを感じたと言います。どんな道に進んでも、その中で、大きな視野を持ち、やりがいを見つけ、自分にしかできない仕事をし、その世界で必要とされる人になって欲しいという願いをもっており、それに必要な日々の教育をやっていきたくておっしゃっていました。

杉並区立松溪中学校

住所:167-0051 東京都杉並区荻窪2-3-1 電話:03-3392-7328
ホームページ:www.suginami-school.ed.jp/shoukeichu/

講座紹介

続・はやぶさ2の挑戦 ～リュウグウからの玉手箱～

惑星探査機「はやぶさ2」が6年にのぼる旅を経て、遠く離れた小惑星「リュウグウ」の欠片が入ったカプセル投下に成功しました。世界に類を見ない日本独自の宇宙開発物語。幾多の苦難を乗り越え、成功に導いたお話を伺います。 ※小学校低学年以下の参加には保護者の同伴をお願いします。

★日時:令和3年2月21日(日)午後1時30分～3時30分 ★定員:30名

★講師:澤岡 昭(JAXA研究総括・大同大学名誉学長)

★場所:荻窪地域区民センター

※受講を希望する方は、本紙P4の「講座などのご案内」を読んでお申し込みください。



澤岡 昭氏

「荻窪の記憶」

こぼればなし

新宿武蔵野館と徳川夢声

♪シネマみましょか お茶のみましょか いっそ小田急で
逃げましょか かわる新宿 あの武蔵野の 月もデパート
の屋根にでる♪

昭和4年に大ヒットした「東京行進曲」の一節ですが、関東大震災後、ターミナル駅となった新宿の急発展ぶりが伝わってきます。当時、シネマ（映画）は娯楽の王様で、新宿を代表する映画館といえば、武蔵野館。その人気は主任弁士の徳川夢声によるところ大でした。弁士とは無声映画の説明員のことで、その巧拙が映画の観賞に大きな影響を与えたのです。

ご存知の方も多いと思いますが、徳川夢声は半世紀近く天沼に居を構えていました。昨年、武蔵野館が開館100年を迎えたこともあり、今回は、中央線が結ぶ両者の記憶に触れてみたいと思います。

木造タイル張り3階建ての最初の武蔵野館が建てられたのは大正9年。東京の場末だった新宿に賑わいと呼ぶには、当時、流行の先端だった映画館をつくるのがいいと考えた商店主たちの共同出資によるものでした。最初、二番館からスタートした武蔵野館は客の入りもよくありませんでした。しかし、大正12年の大震災を機に新宿が新しい繁華街へと発展すると、武蔵野館も洋面の封切館となり、さらなる高みを目指します。それには、当代一流の弁士が必要と、スカウトしたのが新鮮な話術で学生やインテリにも受けていた徳川夢声でした。当時のことを夢声はこう書いています。「この昭和2年こそは、旧武蔵野館の最高潮時代であつた」「この昭和2年の如く、おしなべての名編佳作が、私の舌にかゝつた事はない」

同じ昭和2年、夢声は、土地会社を経営する義弟の勧めで、天沼の大根畑をつぶした分譲地を170坪買い、自邸を建てています。「荻窪なんて、八王子の手前ぢやないか。そんな草深いところ、厭なこつた！」と、渋々ながら出掛けてみると、「なるほど駅から実に近い。公設市場があつたり、製材所があつたり、相当ゴミゴミしてはゐるが、分譲地の周囲三方は悪くない環境」だったからです。

しかし、映画の技術は日進月歩。昭和4年5月9日、日本最初のトーキー興行が新宿武蔵野館で催されます。それは、『ハワイの唄と踊り』『進軍』の二本立てで、「発声（トーキー）の、いろいろの音を聴かせるため、でっち上げたやうな物語」でしたが、弁士にとっては十分な脅威でした。のちに、夢声はこう書いています。「その時聴へた汽笛の音は、数年間私の耳について離れなかつた。厭だつたのは、私の家のすぐ近くに中央線が通り、其のトーキーの音と、寸分違わない音を出す場合だ。（中略）私ども説明業者を壊滅させたトーキーの、第一回興行の時の汽笛が、今でも私を脅やかすのであろう」



第二次武蔵野館(昭和22年撮影)
写真提供:武蔵野興行株式会社

(引用は、すべて『夢声漫談 昭和篇』より)

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

イベント
報告

第42回
おぎくぼセンター祭

11月15日(日)、当協議会恒例のイベント「おぎくぼセンター祭」が開催されました。今年度はコロナ禍のため、開催すら危ぶまれましたが、会期を春から秋にずらし、1日の短縮開催とし、舞台の演目も小・中学校関連を主体に大幅削減し、食事・菓子類を提供しないなどの対策をとり、連続42回目となる今年度も開催にこぎつけることができました。当日は、1,320名の来場者の下、「舞台」「体験・展示」「模擬店・物販」とも盛況となりました。地域の皆様、出展にご協力いただきました関係者各位に感謝申し上げます。



オープニング 和太鼓「龍」



南京玉すだれ「如月会」



オカリーナ演奏「明田川荘之氏」



フラダンス「フラ・ポーアイ・ナレイ」



シニアの体力測定会
[NPOわがまち一番体験]



アニメづくり体験
[アクアリウムワークショップ]



杉並新鮮野菜販売
[宮前の生産農家]



苗木配布
[東京都・杉並区]

東京都に緊急事態宣言が出されました。今後、催し物などの予定を変更する場合があります。

イベント・講座等のご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
続・はやぶさ2の挑戦 ～リュウグウからの玉手箱～	地球から3.4億キロ離れた小惑星「リュウグウ」で、探査機「はやぶさ2」が岩石採取や人工クレーター作製などの任務を成功させ地球に戻ってきました。幾多の苦難を乗り越え、成功に導いたお話を伺います。※小学生低学年以下は保護者同伴 澤岡昭(JAXA研究総括・大同大学名誉学長)	2月21日(日) 午後1時30分～3時30分	30名	200円	2月7日(日)
初心者のための俳句教室	日常生活から暦・神羅万象を五・七・五と指折ってみませんか。あなたの一句を残しましょう。主として、俳句を始めたい方が対象です。 野崎海芋(俳人協会会員、澤俳句会同人)	4月17日・24日・5月1日・8日 各土曜日(4回) 午後1時30分～3時30分	20名	200円	3月28日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

開催報告 第12回 防災フォーラム2020

12月6日(日)、今年も防災フォーラムが、「地域の防災力を高めるために」をテーマに、新装なった西荻地域区民センター3階を使って、西荻および荻窪の両センター協議会が協力して開催されました。プログラムは3つの講演会とグループ討議からなり、講演会1では杉並区危機管理室の近藤防災課長から「コロナ感染を防ぐ震災救援所の運営とは」をテーマに、講演会2ではNPO法人日本防災士会世田谷支部理事の菊池頭太郎

氏より「災害時、実はトイレが大問題」について、講演会3では障害者の住みよい杉並をつくる会の佐藤弘美氏から「障害のある方がともに避難できるには」について講演をいただきました。

グループ討議には39の町会・自治会や地域活動支援団体が参加、6つのグループに分かれてコロナ禍のもとでの活動の課題の議論が行われました。詳しくはホームページに掲載しますので、ご覧ください。



近藤防災課長



菊池頭太郎氏



佐藤弘美氏



グループ発表風景

西田小にて出前授業「講談鑑賞会」を実施

11月20日(金)の午後、西田小学校にて六年の生徒を対象に、神田山緑(かんださんりょく)師匠を講師にお招きし、出前授業「講談鑑賞会」を実施しました。「張扇の指導」、「講談で自己紹介をしてみよう」に続き、山緑師匠の講談「耳なし芳一」を鑑賞しました。



「講談で自己紹介をしてみよう」

講座報告

秋を楽しむ木の実工作教室

11月29日(日)、山室京子講師のもと、秋の木の葉、木の実などを使って飾り物やリースを制作する教室が開催されました。



郷土博物館分館 問い合わせ: ☎5347-9801

西棟2階展示室

「すぎなみ・角川コレクション」 ～角川源義ゆかりの芸術品～

現在「杉並区立角川庭園・幻戯山房～すぎなみ詩歌館～」として公開されている旧角川源義邸には、書籍や手書原稿をはじめ、源義が愛用していた品々や、俳句・美術関連の資料など数千点が遺されていました。邸宅とともに杉並区へ寄贈されたこれらの資料のうち、美術資料26点が令和2年(2020)2月に区の登録有形文化財となっています。

本展ではこれらの美術資料を中心に、これまでまとめて公開されることのなかった旧角川邸ゆかりの芸術品をご紹介します。

【開催期間】令和3年1月30日(土)～3月14日(日)

- 場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1天沼弁天池公園内)
- 開館時間: 午前9時～午後5時
- 休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- 観 覧 料: 無料

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号: 3398-9128

2月13日(土)・14日(日)開催予定のイベント 「第42回 アート展」は中止します。

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の 日程

2月23日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

3月23日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

※委員会是一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。